

【1】

(1) What does the passage suggest about AI tutors?

正解:2

選択肢の和訳

1. それらは主に、学校で働く教師の数を減らすために設計されている。
2. それらは、個々の進度に合わせて課題を調整することで、学習を支えることができる。
3. それらは、生徒の感情を理解する点で人間の教師より効果的である。
4. それらは主に、重要な入試の準備をしている生徒だけに使われている。

正解の理由

第1・第2段落では、AI tutors が “adjust the level of questions to match each learner’s progress” や “offer extra practice tailored to the learner” と述べられています。つまり、学習者一人ひとりの進度や弱点に合わせて内容を調整し、個別化された学習支援ができる点が本文の中心です。したがって、②が正解です。

誤答の理由

1. 教師数削減が主目的とは述べられていません。
2. 感情理解については、むしろ人間教師の方が適切に対応できるとあります。
3. 日常復習や宿題支援にも使われるとあり、入試準備だけではありません。

(2) According to the passage, what is one concern about AI tutors?

正解:3

選択肢の和訳

1. それらは、生徒がすぐにフィードバックを受けられることを不可能にする。
2. それらは、学校に教室学習を完全になくすよう促す。

3. それらは、生徒が自分で考える習慣を弱める可能性がある。

4. それらは、教師が生徒の能力差に気づくことを妨げる。

正解の理由

第3段落では、“they may lose the habit of thinking carefully for themselves” と述べられています。つまり、AI に頼りすぎて答えをそのまま受け入れるようになると、自分で深く考える習慣が弱まるおそれがあるのです。この内容に一致する③が正解です。

誤答の理由

1. 本文では逆に、instant feedback が利点として挙げられています。
2. 教室学習を完全になくすべきだとは書かれていません。
3. 教師が能力差に気づけなくなるとは述べられていません。

(3) Which view would the author of the passage most likely support?

正解:2

選択肢の和訳

1. AI tutors は、その精度が向上ししだい、教師を置き換えるべきである。
2. AI tutors は有用だが、人間の教師と協力して用いられるべきである。
3. 教育における感情的支援は、効率や速さより重要ではない。
4. 生徒は、学習を簡単にしすぎるので AI tools を避けるべきである。

正解の理由

最終段落では、AI tutors は “supportive tools rather than complete replacements” とされ、その価値は “combining technological convenience with human guidance” にあると述べられています。つまり、AI と人間教師の協力が最も望ましいという立場です。したがって、②が正解で

す。

誤答の理由

1. 完全な置き換えは支持されていません。
2. 感情面への配慮も重要だと本文は述べています。
3. AI を避けるべきだという極端な主張ではありません。

---

全訳

近年、AI を活用した学習ツールは学校や家庭でますます一般的になっている。これらのシステムは、難しい点を説明したり、即座にフィードバックを与えたり、学習者一人ひとりの進度に合わせて問題のレベルを調整したりすることができる。こうした特徴のために、多くの生徒が今では AI tutor を宿題支援だけでなく、日々の復習や試験準備にも利用している。

AI tutor の利点の一つは、学習をより個別化できることである。従来の教室では、教師は多くの生徒に注意を分けなければならないため、一人ひとりの必要にすぐ対応できるとは限らない。それに対して AI システムは、弱点をすばやく見つけ、その学習者向けに調整された追加練習を提供できる。そのため、生徒はより効率的に学び、以前は難しいと感じていた教科にも自信を持てるようになるかもしれない。

しかし、そのような技術に過度に依存することへの懸念もある。もし生徒が答えを疑わずに受け入れるようになると、自分で注意深く考える習慣を失うかもしれない。さらに、AI システムは感情の状態を必ずしも理解できないので、生徒が落ち込んでいたり、不安を感じていたり、深い意味で混乱していたりしても、それに気づけないことがある。人間の教師は、そうした感情により適切に対応できることが多い。

このため、多くの教育関係者は、AI tutor は教師の完全な代わりではなく、支援的な道具として使われるべきだと主張している。本文は、これらのシステムの最大の価値は、技術の便利さと人

間による指導を組み合わせることにあると示している。言い換えれば、AI は、生徒と教師の関係を弱めるのではなく強めるときに、最も効果的に学習を向上させる可能性がある。

---

【2】

(1) What does the passage say about cashless payment systems?

正解: 2

選択肢の和訳

1. それらは主にオンライン買い物に使われ、日常生活にはほとんど影響を与えていない。
2. それらは、日々の支払いをより速く簡単にできるため、一般的になってきている。
3. それらは、すべての国であらゆる従来の支払い方法を置き換えてつある。
4. それらは、顧客データを集めたい businesses によってのみ支持されている。

正解の理由

第1段落では、cashless payment systems が多くの国で日常生活の一部となっており、smartphones や cards によって transactions can be completed quickly と述べられています。つまり、支払いを速く簡単にできることが普及の理由として示されているため、②が正解です。

誤答の理由

1. 交通費や食品購入など、日常生活全体に関わるとあります。
2. すべての国で完全に置き換えているとは書かれていません。
3. 企業だけが支持しているとは述べられていません。

---

(2) According to the passage, what is one possible problem in a cashless society?

正解:3

選択肢の和訳

1. 消費者は、自分が何を買ったかの記録を残せなくなる。
2. businesses は、現金を扱うのにより多くの時間をかけなければならなくなる。
3. デジタルシステムが止まると、人々が支払いできなくなる可能性がある。
4. オンライン決済は、不必要な買い物を不可能にする。

正解の理由

第3段落では、“technical failures or cyberattacks could prevent people from making necessary payments”と述べられています。つまり、システム障害やサイバー攻撃が起これば、必要な支払いすらできなくなる危険があるということです。したがって、③が正解です。

誤答の理由

1. 本文では逆に、digital records によって支出を把握しやすいとあります。
2. それは現金処理の話であり、cashless の問題点としては述べられていません。
3. 無駄な買い物に気づきやすくなる可能性はあるが、不可能になるとは書かれていません。

---

(3) Which view would the author of the passage most likely support?

正解:2

選択肢の和訳

1. 経済効率を改善するため、現金は直ちに廃止されるべきである。
2. デジタル決済は広がるべきだが、現金も状況によって使えるよう残すべきである。
3. 支払いシステムの主な目的は、企業が人件費を減らすのを助けることである。
4. プライバシーの懸念は、新技術の便利さに比べれば小さな問題である。

正解の理由

最終段落では、society should not aim to eliminate cash completely とあり、digital payment expands while traditional methods remain available と述べられています。つまり、デジタル決済を広げつつも、必要に応じて現金を残すという立場です。そのため、②が正解です。

誤答の理由

1. 現金の即時廃止は支持されていません。
2. 人件費削減だけが目的とは述べられていません。
3. privacy や data security への懸念も重要視されています。

---

全訳

デジタル技術が広がるにつれて、多くの国でキャッシュレス決済システムは日常生活の普通の一部となってきた。人々は今や、硬貨や紙幣を使わずに、食べ物を買ったり、交通費を払ったり、オンラインで買い物をしたりできる。支払いはスマートフォンやカードで素早く完了できるため、多くの消費者はキャッシュレス決済を、時間を節約し、日常の行動を簡単にする実用的な方法だと考えている。

キャッシュレスシステムの重要な利点の一つは効率性である。電子決済は支払いに必要な時間を減らし、企業にとっても現金を扱う費用を下げる可能性がある。さらに、デジタル記録は個人が支出をより簡単に把握する助けになる。これは、より良い家計管理を促し、不要な買い物に気づきやすくなるかもしれない。

しかし同時に、キャッシュレス社会は新たな問題も生み出しかねない。高齢者やデジタル機器に不慣れな人々の中には、そのような仕組みを使いにくいと感じる人もいる。また、技術的な障害やサイバー攻撃によって、人々が必要な支払いをできなくなる危険もある。さらに、金融活動の多くがデジタル化されるにつれて、プライバシーやデータの

安全性に関する懸念は強まると考えられる。

こうした利点と危険の両方があるため、専門家の中には、社会は現金を完全になくすことを目指すべきではないと主張する人もいる。むしろ、デジタル決済を拡大しつつ、必要ときには従来の方法も利用できる仕組みを築くべきだと提案している。本文は、将来の決済システムは、便利さだけでなく、公平性・安全性・利用しやすさによって形づくられるべきだと示している。

必要であれば、次にこの 2 題について英検準 1 級らしく少し難しめに調整した版も作れます。

【3】

✔ Q1. Vocabulary (6 points)

Answers (1) ② (2) ③ (3) ①

[Explanation]

Q1. Vocabulary (各 2 点 × 3 問 = 6 点)

(1) enriched

✔ 正解: ② improved (豊かにした)

- ① weakened (弱めた)
- ③ limited (制限した)
- ④ hidden (隠した)

→ enrich は「豊かにする・充実させる」という意味。本文では knowledge と power が「増加した」だけでなく、「内容的にも豊かになった」ことを表している。単に量が増えたのではなく、質的にも発展したという含みがある。

(2) favourable

✔ 正解: ③ beneficial (有利な・好ましい)

- ① harmful (有害な)
- ② uncertain (不確かな)
- ④ ordinary (普通の)

→ favourable は「好ましい・有利な」。本文では the conditions of human existence (人間の生活条件) が、知識と力の進歩によって「はるかに良いものになった」と述べている。

(3) defective

✔ 正解: ① incomplete (不十分な)

• ② impressive (印象的な)

• ③ traditional (伝統的な)

• ④ flexible (柔軟な)

→ defective は「欠陥のある・不完全な」という意味。本文では、文明そのものに対する私たちの考え方に問題があり、「十分でない理解」に陥っていることを表している。

✔ Q2. Fill-in-the-Blanks (6 points)

Answers (a) ③

[Explanation]

(a) that

→ to an extent that SV は「SV するほどの程度まで」という重要表現。

→ 本文では

have been enriched and increased to an extent that no one would have thought possible

で、「誰も可能だとは思わなかったほどの程度まで、豊かになり増大した」という意味になる。

構造の確認:

• to an extent = 「ある程度まで」

• that no one would have thought possible = 「誰も可能だと思わなかったほど」

→ ここで that は extent の内容を具体化する接続の役割を果たしている。

✗ 他の選択肢

① which

→ 関係代名詞として使うには後ろの形が合わない。ここでは「程度」を受けて結果・内容を述べる that が自然。

② where

→ 場所を表す語なので、程度を表す extent とは結びつかない。

④ what

→ 先行詞を含む語なので、すでに extent という先行詞があるこの文では使えない。

✔ Q3. Grammar / Usage(6 points)

Answer

①

[Explanation]

Q3 は itself の働きを識別する問題。

本文の

a defective conception of civilization  
itself

→ itself は 強調用法。

→ 「文明そのもの」という意味で、civilization  
という名詞を特に強く指している。

→ ここでは「文明に関する考え方」ではなく、「文  
明そのものに対する考え方」に問題がある、とい  
うニュアンスを出している。

① The machine itself was not broken,  
but one small part had failed.

→ これも 強調用法。

→ 「機械そのものは壊れていなかった」という意  
味で、本文と同じく名詞を強めている。

✖ 他の選択肢

② She made the dress by itself in only  
two days.

→ by itself は慣用表現としては普通「それだ  
けで／ひとりでに」。しかもこの文では主語が  
she なので不自然。本文の強調用法とは異なる。

③ The cat hurt itself when it jumped  
from the wall.

→ これは 再帰代名詞。「その猫は自分自身を  
傷つけた」という意味で、動詞 hurt の目的語に  
なっている。本文のような名詞強調ではない。

④ The problem solved itself after a few  
hours.

→ 再帰的な意味を伴う用法。「問題が自然に解  
決した」。これも本文の強調用法とは異なる。

→ よって、本文と同じ 強調用法なのは ①。

✔ Q4. Translation(20 points)

(解答例)

私たちは文明の物質的な成果をあまりにも高く  
評価し、その結果、人生における精神的要素の重  
要性を、必要なほどにはっきりと心にとどめなくな  
ってしまっている。

[Explanation]

この文は、物質的成果の過大評価 と 精神的価  
値の軽視 を対比的に述べている。

骨格を整理すると、

We value A too highly, and no longer  
keep in mind B

→ 「私たちは A を高く評価しすぎ、その結果 B  
をもはや十分に心に留めなくなっている」

① 前半

• We value too highly its material  
achievements

→ its は前文の civilization を受ける。

→ material achievements は「物質的成果」。

→ value too highly は「高く評価しすぎる」  
「重視しすぎる」。

ここでは、文明の進歩を物質的・技術的成果の面  
で過大に見ていることを言っている。

② 後半

• no longer keep in mind ...

→ 「もはや心に留めていない」「十分に意識しな  
くなっている」。

→ keep in mind は重要表現で、「忘れずに意  
識する」。

③ 比較表現

• as vividly as is necessary

→ as ... as の原級比較。

→ 直訳すると「必要なほど生き生きと」。

→ ここでは日本語としては

「必要なほどにはっきりと」

「必要なほど強く」

などと訳すと自然。

④ 重要語句

• the importance of the spiritual  
element in life

→ 「人生における精神的要素の重要性」。  
→ material achievements と対になる表現で、文明の本質は物質面だけではないという筆者の主張がここに表れている。

⑤ 全体の意味

→ 知識や力の進歩によって物質的には大きな成果を上げたが、  
その反面、私たちは精神的な価値を十分に意識しなくなっている、  
という文明批判の文である。

---

Q5. Reading Comprehension (12 points)

Answers (1) ② (2) ③ (3) ③

---

[Explanation]

Q5. Reading Comprehension(各4点 × 3問 = 12点)

(1) 正解:②

Knowledge and power have grown far beyond what people once thought possible.

根拠:第1文

Our knowledge and our power have been enriched and increased to an extent that no one would have thought possible.

→ 知識と力が、かつて誰も想像できなかったほどまで大きく増大したことを述べている。

誤答の根拠

① 「失われた」のではなく、enriched and increased とあるので逆。

③ 生活条件の改善に無関心だとは書かれていない。むしろ後半では「生活条件が非常に好ましいものになった」と述べている。

④ 文明の進歩が止まったとは書かれていない。むしろ大きく進歩したことが前提である。

---

(2) 正解:③

We have formed an inadequate idea of civilization itself.

根拠:第2文

we have arrived at a defective conception of civilization itself

→ 知識や力の進歩に熱中するあまり、文明そのものに対する考え方が不十分なものになった、と述べている。

誤答の根拠

① 生活が快適になっていないとは逆。本文には more favourable とある。

② 知識と力に慎重すぎるとは書かれていない。むしろそれらの進歩に「熱中しすぎた」ことが問題。

④ 科学の重要性を否定したわけではない。問題は、物質面を重視しすぎた結果、文明観がゆがんだことにある。

---

(3) 正解:③

Modern people give too much importance to material success and too little to spiritual life.

根拠:最終文

We value too highly its material achievements, and no longer keep in mind ... the importance of the spiritual element in life.

→ 文明の物質的成果を過大評価し、精神的要素の重要性を十分に意識しなくなっている、という意味である。

誤答の根拠

① 物質的進歩を「完全に否定」しているわけではない。批判しているのは、その偏重である。

② 精神的価値を以前より強く意識しているのではなく、no longer keep in mind とあるので逆。

④ 精神的要素が不要だとは全く言っていない。むしろその重要性を忘れてはならないと述べている。

---

この文章全体の主張は、  
知識や力の進歩そのものは大きな成果だが、文明を物質的成功だけで測るのは不十分であり、精神的価値を忘れてはならない  
という点にある。

---

[4]

✔ Q1. Vocabulary(6 points)

Answers (1) ② (2) ② (3) ③

---

[Explanation]

Q1. Vocabulary(各2点 × 3問 = 6点)

(1) arose

✔ 正解:② began(生じた / 始まった)

• ① disappeared(消えた)

• ③ weakened(弱まった)

• ④ returned(戻った)

→ arise は「生じる・起こる」。本文では life arose on the planet で、「生命が地球上に誕生した」という意味になる。

(2) ingenious

✔ 正解:② clever(巧妙な / 独創的な)

• ① ordinary(普通の)

• ③ fragile(壊れやすい)

• ④ ancient(古代の)

→ ingenious は「巧妙な・独創的な」。本文では、生命や人類がきわめて複雑で巧みな存在へと発展してきたことを表している。

(3) species

✔ 正解:③ kind(種類)

• ① method(方法)

• ② object(物)

• ④ process(過程)

→ species は「種・種類」。本文では mankind を「最も複雑で巧妙な種」と述べている。

---

✔ Q2. Translation(32 points)

(解答例)

わずか六千年から七千年ほど前に——その期間は、地球の歴史全体に比べれば、1年に対する1分にも満たないほどの短さにすぎないのだが——文明が出現し、その結果、私たちは人間の世界を築き上げることができるようになり、進化の驚異に加えて、芸術・科学・社会組織・精神的達成といった、私たち自身の驚異を付け加えることができるようになった。

---

[Explanation]

この文は長いですが、主節・挿入句・結果表現の3層に分けると読みやすい。

① 主節の骨格

• Only six or seven thousand years ago ... civilization emerged

→ 文の中心は civilization emerged「文明が出現した」。

→ Only six or seven thousand years ago は「わずか六千～七千年前に」で、文明の登場が地球史全体から見るときわめて最近であることを強調している。

② ダッシュ内の挿入

• a period that is to the history of the earth as less than a minute is to a year

→ これは文明の歴史の短さを説明する挿入。

→ A is to B as C is to D は「AとBの関係は、CとDの関係に等しい」という対応・比喩の表現。

→ ここでは

「その期間と地球の歴史全体との関係は、1分未満と1年との関係に等しい」

という意味。

→ 日本語では

「地球の歴史全体に比べれば、1年に対する1分にも満たないほどの短さ」

とすると自然。

③ civilization emerged の結果

• enabling us to build up a human world

→ enabling は分詞で、文明の出現がもたらし

た結果を表す。

→「その結果、私たちは人間の世界を築き上げることができるようになり」。

・ and to add to the marvels of evolution  
marvels of our own

→「進化の驚異に加えて、私たち自身の驚異を付け加えることができるようになった」。

→ここでの marvels of our own は「人類自身が生み出した驚異」。

④ marvels の具体例

・ marvels of art, of science, of social organization, of spiritual attainment

→「芸術、科学、社会組織、精神的達成の驚異」。

→文明の成果が、物質面だけでなく文化・制度・精神面にも及んでいることを示している。

⑤ 全体の意味

→文明は地球史の中ではごく最近の現象にすぎない。

→しかし、その短い期間のうちに、人類は自然の進化が生み出した驚異に加えて、独自の文化的・精神的成果を築き上げてきた。

→この「文明の歴史は短い、その成果はきわめて大きい」という対比が、この文の核心である。

✔ Q3. Reading Comprehension (12 points)

Answers (1) ② (2) ③ (3) ②

[Explanation]

Q3. Reading Comprehension(各4点×3問=12点)

(1) 正解:②

The long development of life before the appearance of mankind

根拠:前半

For the next four billion years, life became steadily more complex ...

until ... it produced mankind

→人類が現れるまでに、生命が長い時間をかけて複雑化・多様化してきたことを述べている。

誤答の根拠

① 生命の消滅ではなく発展の話。

③ 文明は地球誕生直後ではなく、はるか後。

④ 複雑な種が衰退したとは書かれていない。

(2) 正解:③

Civilization is extremely recent compared with the history of the earth.

根拠:

Only six or seven thousand years ago a period ... as less than a minute is to a year

→文明の歴史は、地球の歴史に比べればきわめて短い。

誤答の根拠

① 生命そのものより古いとは逆。

② 地球史の大部分を占めるとは逆。

④ 人類の出現と同時ではない。

(3) 正解:②

It has added human achievements to the wonders already produced by evolution.

根拠:後半

to add to the marvels of evolution  
marvels of our own

→文明は、進化が生み出した驚異に加えて、人類自身の驚異を付け加えた。

誤答の根拠

① 進化を完全に置き換えたわけではない。

③ 芸術・科学・精神生活を弱めたのではなく、むしろ生み出した。

④ 人間の複雑さを減少させたとは書かれていない。